



第51号2017年 多摩

—都議選特集—

俊風会
NEWS

日本維新の会
伊藤しゅんすけ
Shunsuke Ito

〒194-0021 町田市中町 2-6-11 サワダビル3F
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935
〒206-0002 多摩市一ノ宮 4-1-1 N2ビル 2F
TEL 042-375-5500 FAX 042-375-3873

Homepage <http://www.i-shunsuke.com>
Mail officeshunsuke2012@gmail.com
Twitter http://twitter.com/shunsuke_ishin
FB <http://www.facebook.com/shunsuke.ishin>

都議会(議員)の甘い構造と無責任体質



かつてない注目をされている都議会が、まもなく6月23日告示。今月号は、国政同様の体質が問題視される都議会について。

都議の報酬は、政務調査費年額720万を含めれば、約2500万円、月額約200万円
で国会議員並みです。また未だに議会や委員会に1回出席すれば費用弁償(交通費)
1万2千円が支給され、会期が年間約80日だとそれだけで96万円が支給されます。
公用車の使い方も問題視されています。東京は財源が豊かだといって、これまでの
都議会は自分達に甘い構造をつくってきました。

いま、小池都知事に支持を表明すれば、これまでの責任が問われぬかの如く、民進も公明も自民も小池
新党へアプローチ合戦をしています。これまでのブラックボックスを作ってきたのは、既成政党の民公自の
3党です。政策協議もなしに選挙のことだけを考へて行動する議員をみると、自分達の政党でやってきたこと
に責任もプライドもないのがわかります。維新の柳ヶ瀬都議は、費用弁償(交通費)は当然全額返納(供託)
をしています。また議員歳費3割削減を提案し、全会派(都議)を説得にまわりましたが、賛成はたったの5人、
これが都議会の現状です。厳しい時に自ら身を切れる人材こそが、結果的に税金を無駄づかいしない体質
(政治)へ改善する近道です。約束したことは必ずやり抜く維新の力を都政でも国政でも是非、伸ばして下さい。
都知事が変わっても改革を後戻りさせない仕組みづくりが必要です。

維新が大阪から「身を切る改革」の基礎をつくり上げた

大阪で維新が政党を立ち上げてから9年、東京同様、議員に甘い構造で11年連続赤字だった財政を、
橋下知事誕生以来1年で黒字にし、以後9年間黒字で経営をしています。橋下徹が自分の給与を42%カ
ット、退職金はゼロにし、現在の大阪知事市長にも受け継がれ、府議会定数2割削減、報酬30%カットで大
阪府議会は全国で1番低い報酬です。議員自ら身を切ることで、はじめて市の職員3割削減(6152人)天
下り外郭団体72団体を18団体へ削減し、市バスの運転手給与が1000万以上で単年度26億円赤字を10
億の黒字にしました。さらに身を切る改革で200億の財源を捻出し、私学の高校教育無償化を実現、現在
5歳児も無償化で幼児教育無償化に向かっています。大阪ではじまった改革は、教育無償化が現実味に
なるほど、いまや国政の与党にも野党にも影響を与え、大阪の改革を支えたブレーンが小池都知事のブレ
ーンに加わり、東京大改革のベースにもなっています。維新は国益になる国民の為になる政策を実現する
役割を果たしたいと思います。

- 1、都議報酬3割カット、都議定数大幅削減、議員公用車廃止、政務調査費5割削減と用途厳格化、
費用弁償廃止、公務員人件費2割削減(公務員を身分から職業へ)、天下り禁止(ハローワーク一本化)、
外郭団体ゼロ、各種団体への補助金をゼロベースで見直し
- 2、幼児教育から大学までの教育完全無償化、待機児童ゼロ(ベビーシッター補助)、不妊治療無料化、
民間介護士の待遇改善、都営住宅を特養ホーム転換で待機老人ゼロ、特区方式での規制改革
- 3、社会インフラ老朽化対策、電柱地中化、動物殺処分ゼロ、情報公開の徹底
- 4、都営交通24時間営業、公共WiFi充実、民泊解禁、環境緑化計画
- 5、不透明なオリンピックとパラリンピックの開催予算の急拡大(3000億→1.8兆円)等
- 6、豊洲問題、9カ月の交渉記録がないなど、都の隠ぺい体質解明と改善、安全性検証、築地安全性も調査

- 年金＝人口が増え続ける時代に創られた年金制度(賦課方式)は少子高齢化時代に対応出来ず、1日も早く積立方式に。いま20代は、将来、納付額より受給額が約マイナス2400万円になる。
- 教育無償化と少子高齢化と待機児童＝2055年には日本人口8700万人に減少し、2.5人に1人が65歳以上(高齢化率40%)を想定し、少子高齢化対策や待機児童対策としても幼児教育無償化が必要。また貧困の連鎖に歯止めをかけるためにも大学まで教育無償化実現を。
- 経済＝内需型から外需型への転換。TPPもその一つ。競争から逃げずに、中国主導の経済圏ではない枠組みで国益になるルールとマーケットを勝ち取り、自由貿易圏拡大へ。またイギリスがEU(ユーロ圏)離脱に向うなか、ドイツもフランスもユーロ圏からの離脱が予想され、フランスはサルコジとルペンの大統領選でルペンの可能性。イギリスもドイツもフランスもアメリカのトランプ大統領との連携が進む。日本も新しいTPPの交渉や日英のFTAなど早急に交渉を進め、アベノミクスからの経済政策転換も早急に。
- 原発＝原発事故後処理に21兆円。安価でも安全でもない、最終処分地なき再稼働に反対。原発に依存しない再生可能エネルギー等の産業で新しい文明への挑戦。
- 安保法制＝自衛隊の歯止めなき海外派兵には反対。北朝鮮の脅威など現実的な対応を想定。
- 憲法改正＝与党だけでは3分の2に届かず、維新がキャスティングボードを握る形となりました。維新は、教育完全無償化や地域主権改革(道州制)、憲法裁判所設置を憲法改正で実現します。

- 1、伊藤しゅんすけは、自ら議員歳費3割削減を約束します。
国会議員定数3割、国会議員歳費3割削減(大阪は、府議会定数2割、歳費3割削減)
- 2、国会議員年間1200万円の文書通信交通滞在費(領収書なし、報告なし、税金なし)の使途公開(維新の所属議員はHPで既に公開中)
- 3、企業団体献金の禁止(維新は既に実施中)
- 4、公務員人件費5兆円、公務員数3割削減
- 5、出資法人数64%、出資法人への天下り60%削減
- 6、幼児教育から大学まで教育完全無償化を実現します。
- 7、維新所属の国会議員歳費2割を毎月被災地へ寄附(実行中)

- ・多摩市を日本一環境先進都市へ。・待機児童ゼロへ。多摩市は現在、待機児童89名。
- ・パルテノン多摩の大規模改修における費用圧縮を求めます。・団地の空室対策
- ・物を売る街から時間を売る街へ。・オープンスペースを活用し、通年エンターテイメントの街へ。
- ・多摩市もオリンピックの舞台になります。自転車競技は、皇居前をスタートし、多摩市は連光寺に入り、連光寺坂を下り、多摩ニュータウン通りを右折して関戸橋を渡り、鎌倉街道に入り右折して稲城大橋に入るコースを男子は16周、女子は7周します。災害時にも活用できる、思い切った自転車道路の行き届いた街へ。

- ・1979年8月5日 町田生まれ、町田育ち
- ・富士幼稚園卒・桐蔭学園小・中・高・大卒
- ・中国北京大学留学
- ・中央大学経済学部国際経済学科卒業
- ・会社起業経営・維新政治塾一期生卒

伊藤俊輔プロフィール

第46回衆議院議員選挙に立候補 東京比例次点(あと635票)
 第47回衆議院議員選挙に立候補(50,836票)東京比例次点。
 再び挑戦を続ける!

皆様のお声を是非お聞かせください。返信 FAXは 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:

TEL:

FAX:

ご住所:

MAIL: